

第 56 回日経・経済図書文化賞決まる

2013 年 11 月 3 日発表

日本経済新聞社と日本経済研究センター共催の 2013 年度・第 56 回「日経・経済図書文化賞」受賞図書は、次のように決まりました。

《受賞図書》賞（賞金 100 万円および副賞として記念品を著者へ、賞牌を出版社へ贈呈）

「自殺のない社会へ」

澤田康幸・上田路子・松林哲也著（有斐閣）

「家族と社会の経済分析」

山重慎二著（東京大学出版会）

「関わりあう職場のマネジメント」

鈴木竜太著（有斐閣）

「利益率の持続性と平均回帰」

大日方隆著（中央経済社）

「近代日本の研究開発体制」

沢井実著（名古屋大学出版会）



総評

地道な検証 労作多く

審査委員長／東京大学教授 吉川 洋

出版、とりわけ学術出版を取り巻く環境が厳しい中、昨年に続き、今年度も受賞作が 5 点、幅広い分野から生まれた。特に経営、会計の両分野で揃って受賞作が選ばれたのは、1995 年度以来のことである。

97 年の金融危機を境目に、日本の自殺者は年間 2 万人から 3 万人へ急増した。『自殺のない社会へ』（澤田康幸・上田路子・松林哲也著）は、デュルケームの『自殺論』以来の問題について、経済学の立場からエビデンス（証拠）に基づく堅実な実証分析を行い、その分析をベースに具体的な政策的提言している好著である。あるべき書物の姿を示す書として多くの審査員から高く評価された。

『家族と社会の経済分析』（山重慎二著）は、家族や共同体を分析対象とした現代的な社会政策論である。伝統的な共同体だけではなく、人々が自発的に結びつく「新しい共同体」も考慮に入れた見通しのよい著者の視点は、今後の社会保障のあり方などについて、私たちに大きな示唆を与えてくれる。

『関わりあう職場のマネジメント』（鈴木竜太著）は、関わり合いの強い職場では社員同士がお互い助け合い、勤勉さや創意工夫も高まり、企業の競争力が高まる、という仮説をヒアリングやアンケートを通して検証した経営書である。バブル崩壊以降、かつて日本の職場が持っていた良さが失われ、人間関係もぎすぎすしてきた、と指摘されることが多い。職場の再生に向け、どう取り組んだらよいのか、一条の光を当てた書物とも言えよう。

『利益率の持続性と平均回帰』（大日方隆著）は、営業利益率などが時間とともに産業の平均水準にどれだけ回帰する傾向があるかを丹念に分析している。一見、地味な実証分析だが、こうした分析の結果により、日本の会計基準により合理性があるという結論を導く本書は、何でもグローバルスタンダードという近年の風潮に一石を投じる書でもある。

『近代日本の研究開発体制』（沢井実著）は、政府による国家的な研究開発体制が第 1 次世界大戦後に構築され、戦後 50 年代まで継続した、という著者のテーゼを緻密に実証した経済史の本格的な研究書として、高い支持を集めた。

受賞作以外にも優れた書物が数多くあり、審査委員会ではそうした書物についても真剣な議論が行われた。『税務会計分析』（鈴木一水著）は、税制が企業行動にどのような影響を与えているかについて経済学的なアプローチを採り、日本固有の問題についても数多くの新たな知見を導き出した研究書である。パイオニア的な業績だが、米国等では既に標準的になっていると指摘する声が出て、受賞には至らなかった。

『税制改革のミクロ実証分析』（北村行伸・宮崎毅著）は、家計行動の分析を通して所得税・消費税の税収弾性値や最適最高税率などについて実証分析をした労作だが、得られた結果の政策的含意につき十分論じられていないとの難が指摘され、受賞を逃した。

『環境と効率の経済分析』（馬奈木俊介著）は、新しい効率性尺度を様々な分野に適用し、生産性の計測を行った好著だが、政策的な議論が弱いとの指摘があり、選外となった。

30 年前の論文を中心に編まれたものであることから選外となったが、『日本戦時経済研究』（原朗著）は、戦時経済研究の基礎を築いた不朽の研究書で、学界の財産となる一冊が誕生した。

*本文中の「総評」「書評」は、2013 年 11 月 3 日付日本経済新聞朝刊（特集面）から転載しています。

◇審査対象

2012年7月1日から13年6月30日（外国語著書は11年1～12月）の間に出版された日本語または日本人による外国語で書かれた著作で、本賞に参加を得たもの（一般の人が自由に購入できる図書に限る）。

◇審査委員

（委員長）吉川洋東京大学教授

（委員）伊丹敬之東京理科大学教授

八代尚宏国際基督教大学客員教授

斎藤修一橋大学名誉教授

岩井克人国際基督教大学客員教授

本多佑三関西大学教授

杉原薫政策研究大学院大学教授

伊藤元重東京大学教授

井堀利宏東京大学教授

樋口美雄慶応義塾大学教授

桜井久勝神戸大学教授

池尾和人慶応義塾大学教授

金井壽宏神戸大学教授

翁百合日本総合研究所理事

大竹文雄大阪大学教授

松井彰彦東京大学教授

芹川洋一日本経済新聞社論説委員長

岩田一政日本経済研究センター理事長